

神山神社だより

令和3年10月

31号

■はじめに

暑い夏が終わり、朝晩随分と涼しくなってきました。体調に変調を来たす時期です。今年はいつもの年と比べると稲刈り等が全体的に遅いようです。やはり八月初旬の大雨と晴天が続かなかったことが影響しているのではないかと思いますが、そんな中、コロナは依然として終息する気配がありません。神社での祭りは神事のみで直会も出来ない状態が続いています。その為、いろんな人と話す機会が無くなって寂しい限りです。多くの人と触れ合う機会があることは人生を豊にすると考えますのでいち早く元の生活に戻るよう願っています。



■社務所建設進捗状況

前回の神社だよりでもお知らせしましたが建設に際して地区の協力金と奉賛寄付金の用途が立った事により八月下旬より社務所解体と建設を進める手筈でした、しかし最終的な見積もりが出るのが少し遅れた為、解体作業は十月初旬となりましたのでお知らせします。

九月十三日に第十三回建設委員会を開き金額については予定通りで了承を得ましたので九月二十二日に「社務所解体清祓」の神事を執り行いました。

昭和九年五月に改築され九十年近くもの間 神山神社の直会所・研修所・仮祭事場・お守り神札授与所等の利用をして来ました。老築化したとはいえ長きに渡り祭りを支えてくれた建物です、壊す事については少し感慨深いものがあります。社務所の中には心ある方の寄贈された

多くの額が掲げられ又昭和九年以降に寄付、寄贈された方の名板が掲げられていました。それらは解体前に取り外し保管を致しましたので将来的には神社の歴史資料の一つとしてとしてデータベース化したいと思えます。順調良く進めば十月十四日に地鎮祭（工事安全祈願祭）を執り行う予定ですので御了解ください。

工事が始まりここで一区切り付く訳ですが備品調度品等の購入が控えています。この費用については神社費と今回の建設費用の残りを利用して購入に当てたいと思っております。

現在神社ではコロナの影響により以前と比べると神社収入が減ってきております。氏子の皆様にお願いますのは大変恐縮とは存じますが社務所建設への寄付、神社への奉納、調度品の購入等の寄付をいつでも受け付けておりますので地区氏子総代までお申し付けいただければ大変ありがたいです。

■今年のこれからの祭り

十一月十三日（土）・十四日（日）
七五三祭り

七歳・五歳・三歳の子供の成長を祝う祭りです。報告、感謝、祈願を行ないます

※裏面が申込用紙です、ご利用ください。又はホームページにも申込用紙を載せております。

十一月二十三日 午後二時

秋祭り（新嘗祭・感謝祭）

収穫を感謝する祭り並びに生産を祝う祭り

十二月三十日 午後二時

大祓い式（年越の祭り）

一年の穢れを人形に移し、祓いを行います。そして無事、新年を迎える神事です。

各種お祓いを含め、来年の厄年健康祈願祭・還暦報告祭・古希祝祭の正式参拝を予約受付してあります。
年（女性 19・33・37・61歳）
厄（男性 25・42・61歳）
還暦（男女共に60歳）

神山神社

宮司 深谷 耕平

宅 0573 - 72 - 2892

神社だよりのお問合せ先